アイヌ施策推進地域計画　目標評価報告書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施主体名 | 計画の名称 | 目標年度 |
| 白糠町 | 白糠町アイヌ文化の保存・伝承・活用推進計画　～ウレシパ・プラン～ | 令和５年度 |

1. 目標の達成状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| アイヌ施策推進地域計画における目標 | 目標値  A | 実績値  B | 達成率(%)  B/A | 備考 |
| アイヌ伝統文化空間来訪者数 | 7,000人/年 | 5,728人/年 | 81.8％ |  |
| ウレシパチセ入館者数 | 6,000人/年 | 2,018人/年 | 33.6％ |  |
| 保護者満足度 | 80％/年 | 85％/年 | 106.3％ |  |
| 学習支援利用率 | 80％/年 | 66％/年 | 82.5％ |  |
| 学習支援利用者数 | 35人/年 | 60人/年 | 171.4％ |  |
| 海外研修等事業参加生徒数 | 延べ7人 | 延べ8人 | 114.3％ | R5実績 |

|  |  |
| --- | --- |
| アイヌ施策推進地域計画における目標 | 達成状況 |
| アイヌ伝統文化空間来訪者数 | 新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、屋外エリアへの来訪者数は目標値には達しなかったものの、各種事業等の再開により回復傾向にある。 |
| ウレシパチセ入館者数 | 新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が減少し、徐々に回復傾向にはあるが、目標値の達成には至らなかった。 |
| 保護者満足度 | 園児に「平仮名の読み」や「数と計算」などの基礎学力を身に付けさせるサポートを行い、園児が前向きに笑顔で取り組む姿が見られ、保護者アンケートの結果から、目標値を達成した。 |
| 学習支援利用率 | ほかの習い事がある、また、子どもへの負担が大きくなる等の理由により、利用者数が想定より増えず、目標値の達成には至らなかった。 |
| 学習支援利用者数 | 当初の目標として、年間利用者数３５人を目指していたが、会場を高校内に移設したことや、スタディサプリを活用した「BS（ベーシックスタディ）久遠塾」を毎日開催することで、学習習慣の定着を図ることができ、利用者数の増加に繋がり、目標値を達成した。 |
| 海外研修等事業参加生徒数 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和４年度まで事業を中止していたが、再開した令和５年度については目標値を達成した。 |

|  |
| --- |
| 【アイヌ施策推進地域計画における意見等】  令和３年１月のアイヌ政策推進交付金事業計画に係る協議・説明会において、白糠アイヌ協会から「アイヌ関連団体との基本認識を共有しながら、各種施策を展開していく必要がある。」との意見があった。 |

２．目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

　⑴　アイヌ文化の保存又は継承に資する事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
| ・伝統的コタン再生整備事業  アイヌ文化を育んできた往時の伝統的な住居・生活空間を再現してコタン再生を図り、体験学習・交流イベント・企画展など多様な活動を実践する場として整備を行った。（令和６年３月完成） | 白糠町 |
| 事業の効果 | |
| アイヌ文化の保存・伝承と普及活動を図るための拠点（白糠アイヌミュージアム）として３年間の年次計画による伝統的コタン再生整備事業が令和６年３月に完了した。今後、体験学習や企画展示等の実施により、交流活動の活発化、交流人口の創出・拡大、アイヌ伝統文化への理解の深化を促進させることによって、数値目標であるアイヌ伝統文化空間来訪者数の増加に繋げる。 | |

　⑵　アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
| ・アイヌ文化の伝承と理解促進のための環境整備事業  チャシ跡などアイヌの歴史・文化にゆかりがある場所を「アイヌ伝統文化空間」として位置づけ、アイヌ文化を体感・実感し、理解を深めることができる拠点として再整備を行った。 | 白糠町 |
| 事業の効果 | |
| 白糠アイヌの歴史的な舞台や自然との関りを通したアイヌ文化への理解を深める空間として再整備してアイヌ文化の継承や普及啓発を実施したことにより、交流活動の活発化、交流人口の創出・拡大、アイヌ伝統文化への理解の促進に寄与した。 | |

　⑶　観光の振興その他の産業の振興に資する事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
| ・白糠アイヌの伝承拠点を巡るツアー開発事業（情報発信）  アイヌ文化の伝承拠点を巡るツアー開発のため、海外向け放送番組の制作・放送をはじめ、交流事業、アイヌ文化等に関するホームページ内容の充実、YouTube配信（延べ３１万回再生）による事業を実施し、アイヌ文化等の魅力を広く国内外に情報発信した。 | 白糠町 |
| 事業の効果 | |
| YouTube配信などでアイヌ文化等の魅力を広く情報発信することにより国内外から多数の視聴があるなど、アイヌ伝統文化への理解の促進、交流活動の活発化、交流人口の創出・拡大、アイヌ伝統文化への理解の深化を促進させることによって、目標値の達成に繋げている。 | |

　⑷　地域内及び地域間の交流並びに国際交流の促進に資する事業

|  |  |
| --- | --- |
| 事業の進捗状況 | 事業実施主体 |
| ・人材育成のための学習支援事業（幼児教育サポート、放課後学習サポート、公営塾）  学習習慣と基礎学力の定着を図るとともに、ふるさとへの愛着心と地域に生きる意欲を喚起し、次代のまちを自ら創造する人材を育成するため、講師を雇用して年少期からの幼児を対象とした教育サポート、小学生と中学生を対象とした放課後学習サポート、白糠高等学校の生徒を対象とした公営塾を開設し、アイヌ文化等を担う子どもの学習支援を行った。  ・中学生・高校生海外研修等事業  （新型コロナウイルス感染症の影響により令和５年度のみ事業を実施）  日常とは異なる環境・社会に触れる様々な体験・先住民族との交流等を通して視野を広げ地域のアイヌ文化等を見つめ直すことで、ふるさとへの愛着心と地域に生きる意欲を喚起し、次代の町を自ら創造する人材を育成するため、中学生・高校生を対象とした海外研修を行った。（令和５年度８名参加） | 白糠町 |
| 事業の効果 | |
| ・人材育成のための学習支援事業  園児が「平仮名の読み」や「数と計算」などに興味を持ち、前向きに笑顔で取り組む姿が見られ、日々の成長に繋げることができた。  　放課後学習サポート参加児童が楽しく学習に向き合いながら自主的に取り組む姿勢が継続して見られ、基礎学力の向上を図ることができた。  白糠高等学校の魅力化を図るため、同校の生徒を対象とした公営塾を設置し、塾を通じてアイヌ文化等を担う子ども達の進学及び就職のための学習指導を実施した。個々の生徒に応じたきめ細かな指導に取り組むことができ、アイヌ文化等を担う子ども達の全体的な学力の向上を図ることができた。  ・中学生・高校生海外研修等事業  　本町の次代を担う子どもたちが、国外の先住民族の歴史、文化、生活、環境活動等を肌で感じることにより、地域のアイヌ文化を見つめ直すとともに国際的な規模で創造する広い視野と挑戦への意欲の醸成など、グローバル化が進展する社会における未来の地域リーダーとしての人材の育成を図ることができた。 | |

３．今後の方針等

|  |
| --- |
| ・アイヌ文化の保存継承事業については、整備したアイヌミュージアム等の施設は伝統文化の保存拠点として重要であることから、引き続き情報発信の拠点として普及啓発等に活用する。  ・アイヌの伝統理解促進事業については、チャシ跡をはじめとしたアイヌ文化にゆかりのある場所はアイヌ文化の理解促進に重要な役割を担っていることから、引き続き環境整備を行い普及啓発拠点として活用する。  ・観光産業振興事業についてはモニターツアー等に関する動画の視聴が着実に増加しており誘客に貢献していることから、引き続きモニターツアーの開発や動画の制作等を行い地域の魅力を発信していく。  ・人材育成学習支援事業等については、アイヌを含む地域の子供たちの基礎学力の向上に寄与していることから、更なる思考力の芽生えの向上と基礎学力の定着を図るため、ふるさとに生きる子どもたちの育成をサポートする取組を継続し、魅力ある地域社会の形成を図っていく。  ・アイヌ関連団体との基本認識を共有しながら、アイヌ文化等の継承とともに、広く情報発信することにより、交流活動の活発化、交流人口の創出・拡大を図り、魅力ある地域社会を形成するための施策を展開していく。 |